

I 第8週の発生動向 (2015/2/16~2/22)

1. インフルエンザについては、八戸保健所、むつ保健所管内で警報が、弘前保健所管内で注意報が解除になりました。東地方+青森市保健所、上十三保健所管内で**警報**が継続しています。
2. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週 167 人から 151 人に減少しました。

II 第8週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科																			
(90) インフルエンザ	151	11.6	113	7.5	98	6.5	50	7.1	131	14.6	59	9.8	602	9.3	-427	3	3.0	148	12.3
(79) RSウイルス感染症	3	0.4	2	0.2	1	0.1	6	1.2					12	0.3	-12			3	0.4
(80) 咽頭結膜熱	4	0.5	2	0.2	1	0.1			1	0.2			8	0.2	1			4	0.5
(81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31	3.9	4	0.4	7	0.7	3	0.6	3	0.5	2	0.5	50	1.2	8			31	3.9
(82) 感染性胃腸炎	50	6.3	22	2.4	36	3.6	7	1.4	14	2.3	22	5.5	151	3.6	-16			50	6.3
(83) 水痘	5	0.6	24	2.7	1	0.1			10	1.7	2	0.5	42	1.0	30			5	0.6
(84) 手足口病															-1				
(85) 伝染性紅斑			1	0.1	11	1.1			6	1.0	1	0.3	19	0.5	2				
(86) 突発性発しん	3	0.4	7	0.8	3	0.3							13	0.3	-3			3	0.4
(87) 百日咳															0				
(88) ヘルパンギーナ															0				
(89) 流行性耳下腺炎	1	0.1	1	0.1	1	0.1	1	0.2					4	0.1	2			1	0.1
眼科																			
(91) 急性出血性結膜炎															0				
(92) 流行性角結膜炎					2	1.0			1	0.5			3	0.3	-6				
(97) クラミジア肺炎															0				
(98) 細菌性髄膜炎											1	1.0	1	0.2	1				
(100) マイコプラズマ肺炎															-3				
(101) 無菌性髄膜炎															-1				
基幹																			
(82) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)									1	1.0	4	4.0	5	0.8	3				

は警報、 は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患):東地方+青森市2人、弘前1人、八戸1人、五所川原2人、むつ1人(2015年計:48人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患):五所川原1人(2015年計:1人)
- ・アメーバ赤痢(五類全数把握疾患):東地方+青森市1人(2015年計:3人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)

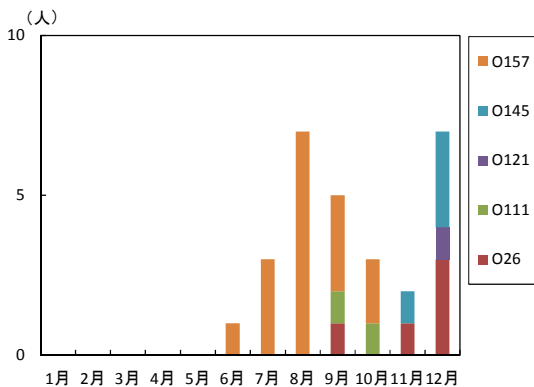


図1 月別・O血清型別患者報告数

腸管出血性大腸菌感染症は、ベロ毒素(Verotoxin)を産生する腸管出血性大腸菌の感染によって起こる疾病であり、一般的な症状は腹痛、水様性下痢及び血便で、嘔吐や38℃台の高熱を伴うこともあります。さらに子どもと高齢者ではベロ毒素の作用により溶血性貧血、急性腎不全を来し、溶血性尿毒症症候群(Hemolytic Uremic Syndrome)を引き起こすこともあります。

県内における全数把握疾患の患者報告数では、例年、結核に次いで腸管出血性大腸菌感染症が多い状況ですが、平成26年は28人(患者20人、無症状病原体保有者8人)で、平成25年の60人より少ない報告数でした。性別は男性13人、女性15人でした。

平成26年における腸管出血性大腸菌のO抗原による血清型別は、O157

が最多で、次いでO26であり、月別では、1月から5月をのぞき届出があり、8、9、12月に多くみられました(図1)。

比較的、広範囲な年齢層で発生し、年齢的な傾向は特に見られませんでした(図2)。

夏季を中心に発生してはいますが、昨年は秋から冬にかけ、O157以外の血清型もみられており、年間を通して注意が必要ともいえます。また、家族内感染も6例見受けられています。

予防策としては、食肉の十分な加熱処理、加熱調理前の肉を取り扱う器具と他の器具との区別、人から人への二次感染予防のための手洗いの励行などが重要です。

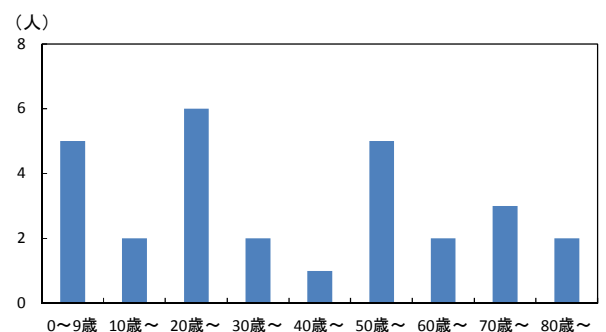


図2 年齢層別患者報告数

V 県内インフルエンザ情報

第8週の患者報告数は、602人で、迅速診断キットによる型別はA型584人、B型7人、不明11人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8
東地方							3	3	19	13	25	25	11	13	9	3
弘前						7	28	60	58	228	277	385	444	275	190	113
八戸				1	22	65	175	326	453	449	485	549	395	287	177	98
五所川原					1	23	50	71	129	169	165	166	121	110	66	50
上十三				1	32	76	204	318	552	426	394	386	328	214	170	131
むつ			2	2		1	15	32	97	138	206	262	325	236	140	59
青森市		1		1	3	11	41	151	159	363	317	508	612	484	277	148
合計	0	1	2	5	58	183	516	961	1467	1786	1869	2281	2236	1619	1029	602

A型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8
東地方							3	3	19	13	25	25	11	13	9	3
弘前						7	28	59	57	228	275	382	442	274	183	111
八戸				1	21	54	170	321	450	442	477	528	392	276	163	93
五所川原					1	22	50	70	129	168	165	166	121	110	66	49
上十三				1	32	74	200	305	544	397	376	369	303	196	159	125
むつ			2	2		1	15	32	97	138	206	261	322	235	139	59
青森市				1	3	10	40	145	143	350	301	487	592	455	268	144
合計	0	0	2	5	57	168	506	935	1439	1736	1825	2218	2183	1559	987	584

B型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8
東地方																
弘前								1						1	3	2
八戸					1	1					1	1			3	3
五所川原						1		1		1						1
上十三										1	1			3	1	
むつ												1	3	1	1	
青森市		1						1	2			2	2	2	1	1
合計	0	1	0	0	1	2	0	3	2	2	2	4	5	7	9	7

年齢区分別(人)

週	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8
～5ヶ月							1	3	8	8	12	4	5	11	8	2
～11ヶ月					1	1	6	9	16	21	31	28	15	15	12	7
1歳					4	3	9	23	31	68	100	84	66	52	31	37
2歳						5	15	30	25	65	100	85	79	67	40	36
3歳					1	9	11	27	34	62	89	94	86	66	49	24
4歳					3	8	20	33	34	51	93	128	80	56	47	45
5歳					4	12	23	34	37	55	87	97	93	66	55	39
6歳				1	9	12	25	53	37	66	107	126	113	95	64	30
7歳					5	11	21	32	34	46	73	111	107	100	60	30
8歳					6	15	20	39	23	27	41	111	119	109	57	14
9歳					7	13	25	47	28	30	39	110	120	72	57	27
10～14歳				1	9	46	159	227	154	155	197	500	634	383	209	135
15～19歳						19	36	51	73	101	80	98	87	67	43	21
20～29歳		1		1	1	2	31	82	229	198	120	106	69	46	23	28
30～39歳			1	1	1	5	34	79	179	184	180	123	136	114	60	24
40～49歳				1	3	7	33	63	156	172	135	130	130	82	64	27
50～59歳			1		1	7	13	51	106	170	98	89	87	55	46	17
60～69歳					2	4	11	31	114	112	98	86	73	59	48	21
70～79歳					1	3	9	27	78	87	86	78	61	51	26	17
80歳以上						1	14	20	71	108	103	93	76	53	30	21

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第44週～2015年第8週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
44	H26.10.27 ~ H26.11.2					クリプトスポリジウム症 10人	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9		急性脳炎1人				腸管出血性大腸菌 感染症1人
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	つつが虫病1人		侵袭性肺炎球菌感 染症1人			
47	H26.11.17 ~ H26.11.23			A型肝炎1人			
48	H26.11.24 ~ H26.11.30	侵袭性肺炎球菌感 染症1人				腸管出血性大腸菌 感染症1人	
49	H26.12.1 ~ H26.12.7	つつが虫病1人	急性脳炎1人			腸管出血性大腸菌 感染症3人	
50	H26.12.8 ~ H26.12.14		劇症型溶血性レンサ球 菌感染症1人				
51	H26.12.15 ~ H26.12.21	腸管出血性大腸菌 感染症3人	後天性免疫不全症候群 1人	アメーバ赤痢1人 侵袭性肺炎球菌感 染症1人			
52	H26.12.22 ~ H26.12.28	腸管出血性大腸菌 感染症1人	カルバペネム耐性腸内 細菌感染症1人	侵袭性肺炎球菌感 染症1人			
1	H26.12.29 ~ H27.1.4		侵袭性肺炎球菌感 染症1人				
2	H27.1.5 ~ H27.1.11			侵袭性肺炎球菌感 染症1人			
3	H27.1.12 ~ H27.1.18						
4	H27.1.19 ~ H27.1.25		水痘(入院例)1人	アメーバ赤痢1人 カルバペネム耐性腸内 細菌感染症1人 侵袭性肺炎球菌感 染症1人			
5	H27.1.26 ~ H27.2.1		カルバペネム耐性腸内 細菌感染症1人				
6	H27.2.2 ~ H27.2.8					侵袭性肺炎球菌感 染症1人	
7	H27.2.9 ~ H27.2.15	アメーバ赤痢1人	後天性免疫不全症候群 1人				
8	H27.2.16 ~ H27.2.22	アメーバ赤痢1人				腸管出血性大腸菌 感染症1人	

VII 結核(二類全数把握疾患) (2014年第50週～2015年第8週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
50	H26.12.8 ~ H26.12.14	2	1	1	4	1	
51	H26.12.15 ~ H26.12.21			1	1		
52	H26.12.22 ~ H26.12.28		3	1		2	1
1	H26.12.29 ~ H27.1.4		1				
2	H27.1.5 ~ H27.1.11	3	1			1	
3	H27.1.12 ~ H27.1.18	1	3		1	2	
4	H27.1.19 ~ H27.1.25		1	2	2	1	1
5	H27.1.26 ~ H27.2.1		1	6	1		
6	H27.2.2 ~ H27.2.8	2	3	1		1	
7	H27.2.9 ~ H27.2.15	1	2	3			
8	H27.2.16 ~ H27.2.22	2	1	1	2		1

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2015年第1週～第6週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	オウム病	重症熱性血小 板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	ブルセラ症	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝 炎	カルバペネム 耐性腸内細菌 感染症	急性脳炎	クリプトス ポリジウム症	クロイツフェ ルトヤコブ病	劇症型溶血性 レンサ球菌感 染症	後天性免疫不 全症候群
累積報告数	2039	2	8	76	3	2	19	37	2	2	1	1	15	23	2	131	111	19	106	98	4	18	60	114

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ジアルジア症	侵袭性パ ルエンザ感 染症	侵袭性髄膜炎 菌感染症	侵袭性肺炎球 菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリ トкокス症	破傷風	パルモコ クシ菌性腸 管感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性ア ナトキサー 菌感染症
累積報告数	5	34	8	341	32	157	12	9	3	7	5	2

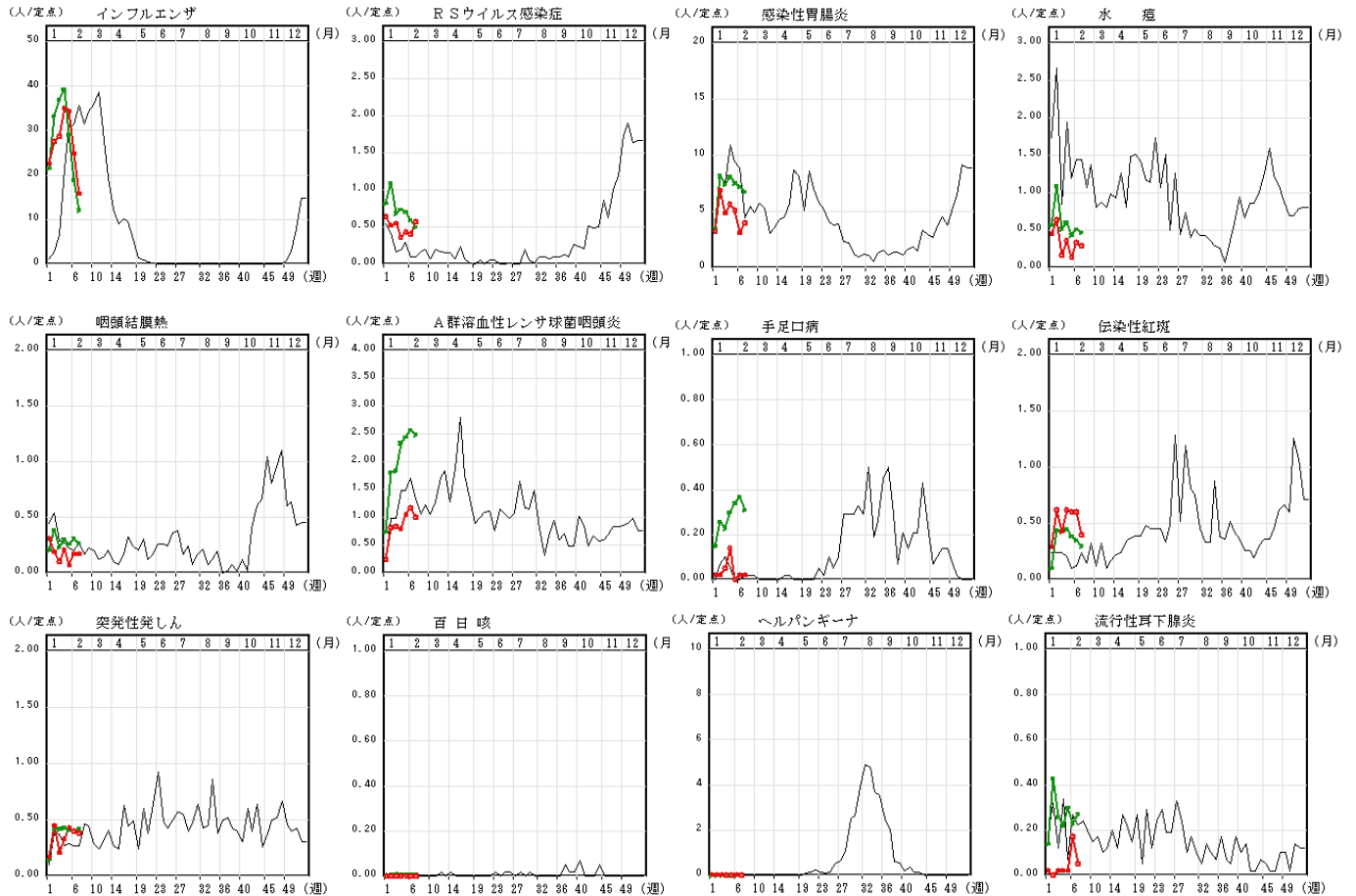
青森県

(2015年第1週～第8週累計)

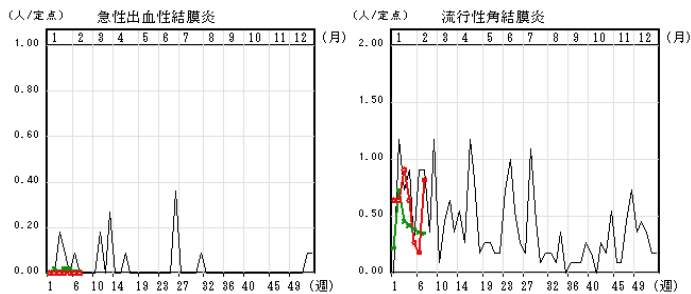
分類	二類	三類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)
累積報告数	48	1	3	2	1	4	1

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第7週)

グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第7週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第7週)

